

図画工作科学習指導案 安芸高田市立美土里小学校
題材名 「ひみつきちをつくろう」

平成26年10月15日(水) 第5校時 生活科ルーム

第2学年18名 肢体不自由特別支援学級(わくわく)1名 計19名

指導者 高橋 治喜 教育介助 藤澤 三枝

安芸高田教育推進部会美術・図画工作部会研究主題
一人一人が自分らしさを表現する創造活動
～自分らしさを表現する造形遊びの指導の工夫について～

1 題材観

- 本題材は、低学年の目標(2)「造形活動を楽しみ、豊かな発想するなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」に基づいている。内容面では、A表現(1)「材料を基に造形遊びをする活動」に関わっている。
また、机や材料の形や色、性質を利用して思いを豊かに膨らませて作る活動を楽しむことができるものである。
- 本題材では、机などの形や、特徴などを基に思い付いた並べ方やつなぎ方組み合わせ方を工夫し、新聞紙を広げる・丸めるなどして、立体物をつくる遊びを楽しむことができる。

2 児童観

- 本学年のほとんどの児童が図画工作での活動を楽しみにしている。その中で、自分の作りたい描きたいイメージを表現することが苦手な児童A児B児C児があり、個別に聞き取りの支援をしながら活動を進めている。
- 児童はこれまでに「大きな かみで」で新聞紙を使って、つなぎ合わせたり、丸めたりしながら紙の感触を味わう経験をしてきている。その経験によって本題材では、さらに意欲的に活動場面が見られると期待している。
- 「ひみつきちをつくろう」は、児童が名前を聞いただけで心を躍らせる題材であり「早くやりたい。」と多くの児童が楽しみにしている。

3 指導観

- 指導にあたっては、完成をめざして楽しく活動しよう、完成したらしっかり遊ぼう、また、1年生を招待しようなどの目標やゴールを示し、意欲的に活動できるように見通しをもって活動させたい。
また、新聞紙を「丸めて棒のように、丸めてボールのように、丸めて筒のように、広げる、ちぎる」などの特性を目的に応じてダイナミックに自分らしさが表現できるように支援していく。そして、その能力が、絵や立体、工作に表す活動にもつながっていくものと考えている。
- この活動を、「ひみつきちづくり」として楽しく安全にするために机を土台として使う。何度も立体物の中と外をくり返し出入りし、腹這いになったり、仰向けになったりして体全体で活動することにより、自然と友だちとの意見の交流が進み、コミュニケーションが高まるものと期待している。
- デジタルカメラを利用し、児童が発見した材料の使い方や工夫や一生懸命に作業している姿を撮影しみんなに紹介し、仲間や先生に認められた喜びを味わわせたい。
- グループは、日常的に活動している学習班(3人ずつ、6班)とする。一人一人が自分の思いで活動しやすいと考えている。また、第2時では、6つの班がつながって、1つのひみつきちになることを期待して指導する。

4 題材の目標 【学習指導要領との関連】

- 机の形や色，身近な材料を基に思い付いたことを試しながら，体全体を働かせてつくる。
【 A 表現（1）ア，イ，ウ 】

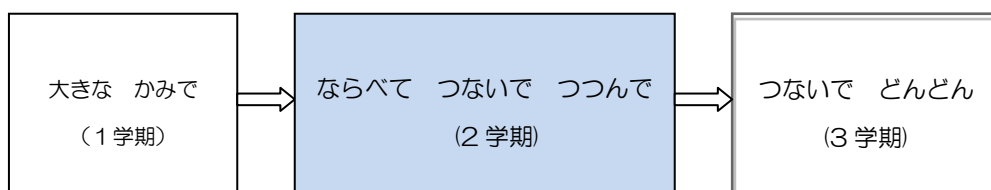
5 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	机や新聞紙，スズラテープなどを使って立体物（ひみつきち）をつくることに関心をもち，体全体で楽しもうとしている。
発想や構想の能力	机の組み合わせ方や新聞紙，スズラテープの使い方や色の工夫を考えている。
創造的な能力	イメージに沿ったつなぎ方，支え方，飾り方の工夫をしている。
鑑賞の能力	自分や友だちの発想のおもしろいところや作り方を工夫しているところを見つけている。

6 題材を貫く言語活動とその特徴

題材を貫く言語活動として，活動中のつぶやきや感想発表などの発言を全体の場に取り上げるようにしたい。これらの活動を通して，仲間や先生に認められた喜びを味わわせることで自信をもち，自分の思いを素直に言葉で表現する力を高めることにつなげていきたい。

7 教材の関連と発展



8 指導と評価の計画（全3時間） 本時（1／3）

次	時	学 習 内 容	評 価		
			観点	評価規準	評価方法
第一 次	1 (本時)	○活動内容を知り，「ひみつきち」をつくり始める。	関・発	◎机や新聞紙，スズラテープなどを使って立体物（ひみつきち）をつくることに関心をもち，体全体で楽しもうとしている。 ○材料の特性を使って自分なりのイメージを広げている。	行動観察 児童発言 ワークシート
	2	○友だちの工夫を参考にするなどして，自分なりの考えで完成させる。	発・創	○友だちの工夫を参考にしてイメージを広げている。 ○イメージに合った支え方，つなぎ方，飾り方を工夫をしている。	行動観察 児童発言 ワークシート
第二 次	3	○自分や友だちの考えや工夫を交流する。	鑑	○自分や友だちの発想のおもしろさや工夫見つけている。	行動観察 児童発言 ワークシート

9 本時の展開

（1）本時の目標

- 机の形や色，身近な材料を基に思い付いたことを試しながら，体全体を働かせてつくる。

（2）観点別評価規準

- ◎机や新聞紙，スズラテープなどを使って「ひみつきち）をつくることに関心をもち，体全体で楽しもうとしている。
- 材料の特性を使って自分なりのイメージを広げている。

(3) 学習の展開 本時(1/3)

分	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準(方法)
7	1 本時の学習活動とめあてを確認する。	○「ひみつきち」について知っていることを発表し、イメージをつかませる。 ・かくれ家 ・ひみつの家 ・わくわくする ・中であそぶ ○どんなふうにつくっていきたいか話し合いめあてを確認させる。	
わくわくする工夫を 考えよう			
13	2 ひみつきちづくりを始める。 ・机を使うと頑丈に作れるよ。 ・新聞紙をどう使おうか？ ・外から見えないようにしよう。 ・広げてつないでどうしようか？ ・丸めて何にしようか？ ・塔を作ろう。 ・入口を暖簾のようにしよう。	○材料を確認する。 ○材料の特徴から使い方を考えイメージを広げられるよう視点をしぼれるよう支援する。 ・机の使い方 ・新聞紙の使い方 ①広げてつなげる。 ②丸めて～ぼうのようにする。 ～つつのようにする。 ～ボールのようにする。 ・スズランテープの使い方 ①のれんのよう ②長くのばして(わかざりのように)	<div data-bbox="1125 913 1391 1070" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 戸惑っている児童には、個々にアドバイスをする。 </div> <div data-bbox="1157 1153 1484 1489" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A 「ひみつきち」をつくることに関心をもち、進んで友だちに関わり、体全体で楽しもうとしている。 (行動観察・児童発言ワークシート) </div>
5	3 友だちの工夫を見つける。 ・よし、～くんのやり方をしてみよう。	○友だちの説明を聞いて、自分の活動に生かせるようにする。	
10	4 活動を再開する。 ・「先生、ここ写真に撮ってください。」 ・「ここ手伝って。」 ・「～しようやあ。」	○指導者は、工夫や頑張りをデジカメで撮るなどして活動を評価してまわる。 ・児童からも撮ってほしいところを要求できるように声かけをする。 ・どんどん相談をしてよい、手伝ってほしいところをどんどんお願いしてよいことにする。	<div data-bbox="1157 1534 1484 1870" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> B 「ひみつきち」をつくることに関心をもち、体全体で楽しもうとしている。 (行動観察・児童発言ワークシート) </div>
5	5 片付けをする。		
5	6 学習を振り返り、次時の確認をする。	○感想を交流し、次時の学習活動を確認させる。 ○活動のまとめと次にやりたいことをワークシートにまとめさせる。	

(4) 準備物

- ◇指導者 ○机 ○新聞紙 ○スズランテープ ○セロテープ ○粘着テープ
- ◇児童 ○はさみ ○えんぴつ

(5) 板書計画

ひみつきちを つくろう
「ひみつきち」ってなに？
・かくれた家 ・ひみつの家 ・わくわくする

つくるばしょ

A ○はん B ○はん C ○はん
D ○はん E ○はん F ○はん

めあて わくわくする工夫を考えよう

◇ざいりょう

1 新聞紙 ①広げてつなげる。
②丸めて一ぼうのようになる。
—つつのようになる。
—ボールのまるめる。

2 スズランテープ—かざり
①のれんのように
②長くのばして（わかざりのように）

くふう

見えないように かべ
えんとつ どう
かざり
出入口のかざり
かざり

じゅぎょうのふりかえりアンケート（2^{ねん}年）

／（ ）

めあて

2^{ねん}年 ばん ^{なまえ}名前

今日のずこうについて しつもんします。 あなたは どうおもいましたか。
あてはまる ところに ○を してください。

① こころに のこる ことや、かんだう することは ありましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

② 友だちの いいところ まねしたいところを 見つけることができましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

③ 「あっ、わかった！」 「あっ、そうか！」と おもったことが ありましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

④ ^{からだ}体を いっぱいうごかして かつどうすることが できましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

⑤ たのしかったですか。 （ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

⑥ じぶんから すすんで かつどう することが できましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

⑦ めあては たっせいすることが できましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

⑧ ともだちと はなし あったり、 たすけあったり しましたか。
（ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

⑨ つぎは、どんなふうになりたいかを 書いてください。